（様式３号）

学 位 論 文 の 要 旨

氏名　前田　久美子

〔題名〕
介護施設を付設した1病院での環境表面の*Staphylococcus aureus*汚染と、
その*S. aureus*汚染に対するアルコール1日1回清拭による清潔保持効果

〔要旨〕

介護施設を付設する1病院において、ドアノブと車イスのハンドルの*Staphylococcus aureus*汚染について調べた。病院では、ドアノブ計40箇所のうち11箇所（27.5%）が、車イスのハンドル計25箇所のうち7箇所（28.0%）が汚染を受けていた。その汚染菌量（平均±S.D）は、ドアノブで9.8±14.0 colony-forming units（cfu）、車イスのハンドルで285.0±731.6 cfuであった。一方、介護施設では、ドアノブ計35箇所のうち18箇所（51.4%）が、車イスのハンドル計25箇所のうち9箇所（36.0%）が汚染を受けていた。*S. aureus*汚染菌量は、ドアノブで215.3±657.5 cfu、車イスのハンドルで295.7±702.0 cfuであった。病院のみならずそれに付設の介護施設においても高頻度の*S. aureus*汚染であったため、ドアノブを清潔に保つために、1日1回のアルコールによる清拭消毒が有効か否かについて検討した。80%（v/v）エタノールで1日1回5日間連続で清拭消毒してその24時間経過後のドアノブを“消毒群”、80%（v/v）エタノール清拭消毒後に5日間にわたって未消毒のドアノブを“未消毒群”として、*S. aureus*汚染について比較した。*S. aureus*の汚染菌量は消毒群と未消毒群とで有意差はなかった（$p>0.05$）。24時間ごとのアルコール清拭消毒は、ドアノブの清潔保持に必ずしも有効でなかった。

（637字）

作成要領
１．要旨は、８００字以内で、１枚でまとめること。
２．題名は、和訳を括弧書きで記載すること。

（様式９号）

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1433 号	氏　名	前田　久美子
論文審査担当者	主査教授	鶴田良介	
	副査教授	石田博	
	副査教授	玉田耕治	

学位論文題目名（題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。）

介護施設を付設した１病院での環境表面の *Staphylococcus aureus* 汚染と、その *S. aureus* 汚染に対するアルコール１日１回清拭による清潔保持効果

学位論文の関連論文題目名（題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。）

Staphylococcus aureus contamination of environmental surfaces and efficacy of alcohol wiping once daily in a hospital with a long-term care facility

（介護施設を付設した１病院での環境表面の *Staphylococcus aureus* 汚染と、その *S. aureus* 汚染に対するアルコール１日１回清拭による清潔保持効果）

掲載雑誌名　Journal of Hospital Administration　第４巻　第６号　P.　31～35（　2015 年　８月　掲載）

（論文審査の要旨）

介護施設を付設する１病院において、ドアノブと車イスのハンドルの *Staphylococcus aureus* 汚染について調べた。病院では、ドアノブ計 40 箇所のうち 11 箇所（27.5%）が、車イスのハンドル計 25 箇所のうち７箇所（28.0%）が汚染を受けていた。その汚染菌量（平均±S.D）は、ドアノブで 9.8±14.0 colony-forming units（cfu）、車イスのハンドルで 285.0±731.6 cfu であった。一方、介護施設では、ドアノブ計 35 箇所のうち 18 箇所（51.4%）が、車イスのハンドル計 25 箇所のうち９箇所（36.0%）が汚染を受けていた。*S. aureus* 汚染菌量は、ドアノブで 215.3±657.5 cfu、車イスのハンドルで 295.7±702.0 cfu であった。病院のみならずそれに付設の介護施設においても高頻度の *S. aureus* 汚染であったため、ドアノブを清潔に保つために、１日１回のアルコールによる清拭消毒が有効か否かについて検討した。80%（v/v）エタノールで１日１回５日間連続で清拭消毒してその 24 時間経過後のドアノブを“消毒群”、80%（v/v）エタノール清拭消毒後に５日間にわたって未消毒のドアノブを“未消毒群”として、*S. aureus* 汚染について比較した。*S. aureus* の汚染菌量は消毒群と未消毒群とで有意差はなかった（$p > 0.05$）。24 時間ごとのアルコール清拭消毒は、ドアノブの清潔保持に必ずしも有効でなかった。

本論文は、病院のみならずそれに付設の介護施設の環境表面においても *S. aureus* 汚染が高頻度であることと、環境表面を清潔にたもつために 24 時間ごとのアルコール清拭消毒は、必ずしも有効でなかったことを明らかにした論文であり、学位論文として価値あるものと認めた。

備考　審査の要旨は８００字以内とすること。